

〈学力向上に向けての取り組み〉

(2)年 30年度 1 学期

<p>実態</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人の前に立って話をすることに抵抗感の少ない児童が多いが、まだまだ語彙が乏しい。 ・一斉指導で理解することが難しい児童には、個別に声掛けしている。 ・人の話を聞くときに、最後まで聞くことが難しい児童もいる。 ・日直・給食・そうじなどの当番活動や係活動に積極的に取り組んでいる。 ・活発な児童が多く、休み時間は外で元気に遊んでいる。
<p>教科学力</p>	<p>重点指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアや小グループでの話し合いを多く取り入れ、自信を持って全体の場で自分の考えを話せるようにする。 ・朝学で読書タイムをとり、じっくりと本を読む時間を確保する。 ・話すときには、みんなに聞こえるよう、口をしっかりと開いて発音するように指導する。また、朝の会でまずペアスピーチを行ったあと、次に日直によるスピーチを行う。全員が毎日話す機会を設定するとともに、日直の児童が一度ペアでスピーチをすることで自信をもち全体の場で話せるようにする。「いつ・どこで・(だれと)何をした・どう思った」など、具体的に話せるよう必要に応じて助言していく。 ・聞くときには、話し手の方をよく見て、静かに最後まで聞き、聞いたことを理解しようとする態度を育てる。 ・6月ごろから、全員が自主学習ノートを持ち、自主学習の仕方を指導する。
	<p>家庭学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語（音読・漢字学習ノート・漢字ノート）、算数（算数プリント・計算ドリル）を中心に毎日出し、家庭学習の基礎を養う。 ・週末には、読書・あのね帳・お手伝い・上靴洗い等を家庭学習とする。あのね帳では、順を追って書くことやしたことを詳しく書けるようにする。
<p>学びの基礎力</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・五箇東スタンダードを定着できるよう継続して指導する。(特に、授業の準備は休み時間にしておくこと、正しく丁寧な字を書くこと、授業開始時刻を守ること。) ・東っ子健康カードで生活習慣を見直し、改善できるようにする。 ・挨拶、廊下歩行、靴・スリッパの並べ方、清掃の指導を継続的に行う。 ・東っ子のノートの使い方を元にわかりやすく書くようにする。 ・読書ノートを活用して、意欲的に読書に取り組めるようにする。
<p>社会的実践力</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学年目標「なかまが いっぱい」を意識させ、他者に思いやりを持って行動できるように声をかけていく。 ・毎月学年集会を開き、誕生月の友だちを紹介しながら互いのことを知ったり、学校生活で気になることを伝えながら規範意識を持たせたりする。 ・体育大会では、集団で行動することを学び、自分の力が発揮できるように練習に取り組んでいく。 ・校外学習や生活科の学習（学校たんけんなど）でグループ活動を多く取り入れ、責任や役割意識を持たせることで、協力し合う仲間づくりをめざす。 ・学級会や朝の会・終わりの会の時間などを活用して、よりよい学級にするために話し合ったり、提案したりする場を設定する。